

令和元年7月24日

第1学期学校評価にかかる学校改善について

学校改革推進委員会

R1. 7. 19、教職員を対象に、第1学期学校自己評価を実施した。
各項目を、各自「4～1」までの数字で評価。
3以上の項目を成果、3未満の項目を課題と捉えた。
その中でも、特に顕著なものを取り上げ、成果と課題をまとめた。

1 成果

- ・安全点検は、確実に行われている。 3. 5
- ・授業時数は、確保されている。 3. 4
- ・学級園は整備され、活用されている。 3. 6
- ・新学習システムを推進し、個に応じた学習指導の徹底を図っている。 3. 6
- ・代表委員会を通して、より良い学校づくりに参画しようとする自主的・実践的な態度を育てている。 3. 6
- ・外国語・外国語活動により、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されている。 3. 5

2 課題

- ・勤務の適正化が図られている。 2. 5
- ・研修の場と時間は、確保されている。 2. 6
- ・基本的生活習慣が身についている。 2. 7

3 まとめ

- ・特別支援教育に関しては、保護者・関係機関・各職員の連携が取れ、指導に活かされている。
- ・職員会議については、校務支援システムの活用により、効率化が図られているが、会議の進め方を引き続き改善していく。
- ・勤務時間の適正化では、教職員の意識改改革をはじめとして、具体的な業務の効率化を検討し、さらに進めていくことが必要である。
- ・あいさつでは、する子・しない子の2極化が課題となっている。「あいさつがんばり週間」「あいさつボランティア」等の取組を継続することや家庭・地域との連携を考えていく必要がある。